



都城市立川東小学校 学校だより No.8

日々の様子を
学校HPで発信中

かわひがし

令和元年11月1日 文責：校長



- 行事予定**
- 1日(金) 学習用具点検
 - 5日(火)～22日(金) 南九州大学生教育実習
 - 6日(水) 児童集会
 - 7日(木)～8日(金) 6年生修学旅行(鹿児島方面)
 - 8日(金) 1～5年生秋の遠足
 - 11日(月)～15日(金) 教育相談週間
 - 12日(火) 小学校音楽大会(5年生出場)
 - 13日(水) 就学時健康診断
 - 15日(金) 社会福祉体験(5年生)
 - 18日(月) 手話体験(5年生)
 - 19日(火) 点字体験(5年生)
 - 20日(水) 小中一貫教育合同授業研究会(祝吉小)
 - 21日(木)～23日(金) 祝吉中職場体験学習
 - 24日(日) 川東っ子まつり
 - 25日(月) 振替休業日(24日分)
 - 26日(火) 持久走練習開始
 - 27日(水) 市町教科授業研究会(外国語)
 - 28日(木) 不審者対応避難訓練
 - 29日(金) 昔の遊び体験(1年生)



研究公開では、たくさんのご支援とご協力をありがとうございました。

研究公開にあたっては、保護者のみなさまに、学校案内や駐車場誘導、受付、会場設営などで、たくさんのご協力をいただきました。参加された先生方へのアンケートにも、川東小PTAのサポートに感謝のメッセージが添えられていました。

子ども達や先生方の頑張りに加えて、関係の皆様のお力添えがあって、研究公開で成果をあげることができました。

心から感謝申し上げます。本当にありがとうございました。

【公開授業のようす】



～「わかる」と「できる」は楽しい！を大切に～



川東小は「都城学校教育ビジョン指定研究学校」として、子ども達が「わかる」「できる」と実感できる授業づくりをテーマに、どのような指導法がよいのか研究を進めてきました。中心となったのは算数の授業ですが、日常の取組すべてで、子どもたちの「わかる」と「できる」を一番に考えてきました。

そこで、研究公開前に、川東小の子ども達の意識をアンケートで確かめてみました。「『わかった』『できた』と思うのはどんなときですか？」の問いに、「ア 自分の考えが書けたとき」、「イ 先生の説明をきいたとき」、「ウ 友だちの説明を聞いたとき」、「エ ゴール問題を解いたとき」の4項目から、多くの子どもたちが選んだのは「ア 自分の考えが書けたとき」と「エ ゴール問題を解いたとき」でした。子どもたちは、分からないことを分かってほしい、一人でできるようになりたいという知的好奇心を働かせています。そして、ゴール問題で、できることを確かめたい、認められたいと思っていることもわかりました。

研究公開は終わりましたが、「わかるようになって楽しい」、「できてうれしかった」、「だから、～の勉強が好きになった」と胸をはれる子ども達を育てるために引き続き研究を深めていきたいと考えます。

児童の下校時刻 月(14:15～16:00) 火・木・金(15:00～16:00) 水(14:45～15:40)
～ 地域のみなさまによる登下校時の見守り活動、ありがとうございます。～